

お知らせ

学校名	岡山県立倉敷天城高等学校
担当者	教 頭 迫 田 実俊 理数科長 齋 藤 英二 SSH室長 S 阪 千絵子
直通番号	0 8 6 - 4 2 8 - 1 2 5 1

若き研究者(本校卒業生)による講演会実施します！

本校は、平成17年に文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、令和6年度まで4期20年間、国際的に活躍できる科学技術人材の育成に取り組んでまいりました。昨年度から新たに、SSHの「先導的改革期」の指定を受け、これまでの取組をさらに深化させるべく、新たな取組にチャレンジしているところです。

このたび、理数科1年次生が、「夏の特別ラボ研修」の一環として、森 祐紀氏 による講演会を実施することになりましたので、お知らせします。

森 祐紀 氏は、本校理数科の卒業生であり、若き研究者として活躍されています。生徒たちにとって、自分たちの身近な先輩であり、科学技術分野の最先端で活躍されている 森 祐紀 氏は、この上ないロールモデルであり、生徒たちのキャリア形成においても貴重な講演会となります。本校の長年のSSHの取組を通して実現した、「先輩と後輩が繋がる」という観点からも意義深い講演会です。

本校のSSHの取組の成果を実感できる講演会の様子を是非、取材してください。

記

- 1 日 時 令和8年7月28日（火）
- 2 場 所 本校「コンベンションホール」
- 3 対象者 本校1年次生理数科生徒 40名
- 4 日程・内容
9：00～ 講演会（第1部）
「高校生～研究者の現在まで」
10：10～ 講演会（第2部）
「南極観測隊での経験と研究」
11：10～ 南極の岩石の観察・質疑応答
11：40 閉会

【講師】「森 祐紀 博士」について

倉敷天城高校理数科2011年卒。岩石学・鉱物学を専門とし、様々な温度・圧力・空間・時間スケールの現象に取り組まれてきた。九州大学に学部生から博士研究員（ポスドク）まで11年間在籍し、学部では記載鉱物学、修士・博士は変成岩岩石学、ポスドクは高圧地球科学と3つの研究室に所属し幅広く研究を行われた。

2022年度から2025年9月まで高輝度光科学研究センター（JASRI）の研究員として、SPring-8のBL02B2で粉末結晶構造解析や時分割測定に取り組まれた。2023年11月～2024年3月には第65次南極地域観測隊（JARE65）の隊員として南極で地質調査に参加。2025年10月から兵庫県立大学大学院理学研究科生命科学専攻地球科学講座助教としてご活躍されている。また、科学の普及活動や理科教育にも積極的に参加し、博物館などで専門知識を提供されるなど多方面でご活躍中である。令和7年度から、本校の学校運営協議会の委員もお務めいただいている。

5 その他

取材いただける場合は、あらかじめ本校担当者に連絡していただき、所属とお名前をお知らせください。